

+Affiliated with the International Association  
 THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI  
 Chartered October 30, 1994



〒194-0211  
 東京都町田市相原町1857  
 長谷川 あや子  
 TEL.&Fax:042-771-6962  
 E-mail: ayako.h3@nifty.com

2025年10月

The Service Club of The YMCA

第364号

## 東京八王子ワイズメンズクラブ

会 長	長谷川 あや子	国際会長 エドワード・オン (シンガポール) 主題「信念、愛、行動」
副会長	久保田 貞視	スローガン「共に、より強く」
書 記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさし) 主題「信念と愛を持って行動しよう！」
会 計	稲葉 恵子	スローガン「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」
直前会長	並木 真	東日本区理事 山下 真 (十勝) 主題「ワイズのらしさ再発見」
担当主事	西嶋 健太	スローガン「Change!」
ブリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部長 山口 直樹 (東京武蔵野多摩) 主題「垣根を低くし、活発な活動を」
		八王子クラブ会長 長谷川 あや子 主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」

### 2025年10月例会プログラム

担当B班:花輪、望月、久保田  
 会場:北野事務所 2F 大会議室  
 受付:久保田ワイズ 司会:花輪ワイズ

#### <プログラム>

開会点鐘	会長 長谷川あや子
ワイズソング	一 同
ワイズの信条	一 同
聖書朗読・祈祷	小ロワイズ
ゲスト・ビジターの紹介	会長 長谷川あや子
卓話 仮題「熊本でのAYCに参加して」	
卓話者:ひつじぐも 岩崎葵さん	
東京YMCA報告	担当主事 西嶋健太
諸報告	会長、各担当
スマイル	望月ワイズ
ハッピーバースデー	会長 長谷川あや子
	該当者:小ロワイズ、並木真ワイズ 他
閉会点鐘	会長 長谷川あや子

## 巻 頭 言

### 第37回YMLF報告

並木 真  
 第37回ユースボランティアリーダーズフォーラム報告書  
 ユース・国際チーム統括 山田公平  
 日程:2025年9月5日(金)~7日(日)  
 会場:富士山YMCAグローバルエコヴェレッジ  
 ワイズ参加人数:全体プログラム16名 部分参加者10名  
 YMCA 常議員1名(横浜YMCA・富士山YMCA 富山さま)  
 東日本区ユース代表2名(川上灯さん、山口満穂さん)  
 計29名



今月の聖句 (2025年10月)  
 その時、弟子たちがイエスのところに来て、「天の国では、一体誰が一番偉いのでしょうか」と言った。そこで、イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、言われた。「よく言っておく。心を入れ替えて子どものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の国でいちばん偉いのだ。また、私の名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのである。」  
 (新約聖書 マタイによる福音書 18:1-5)

ユース参加者 28名(北海道1名、もりおか2名、仙台2名、とちぎ5名、千葉2名、ぐんま1名、横浜8名)

基調講演 NPO 法人ホールアース自然学校 代表理事 山崎 宏氏

ワイズ参加者は、1 日目夜の基調講演と、2 日目のユースのグループタイムの間、ワイズメンバーで懇談の時間をもち、午前中は、山崎氏からワイズ向けに講演を頂き(約 60 分)、午後は、午前中の講演を受けてのディスカッションの時間をもち、以下のような意見が出された。



●W4W で、ゴミ拾いを実施している。このような環境プロジェクトにボランティアリーダーを巻き込んで取り組めるようにしたい。

・東日本区全体で取り組んでいくべき。(区のすべてのクラブで、同じ日に取り組む。)

●それぞれの地域で行われている活動(環境問題など)を例会で卓話として聞く機会を作り、ユースも招くようにしたい。→参加後は、気持ちが強いがだんだん日常に流されて、行動を起こす気持ちが薄れてしまうため、気持ちを新たにさせる。

●東日本区ワイズは、年間を通して「環境問題」について考えるべき。(ワイズも一過性で終わらせない。)



●横浜クラブは、「横浜を美しい街にキャンペーンに参加している。拾ってみると、そのゴミの多さに驚かされる。行政とともに取り組んでいる。

●様々な環境問題に対して「ハチドリの一滴※」であっても行動を起こし、広がりを求めるべき。

※たとえ話。山火事でほとんどの動物は逃げたが、小さなハチドリ1羽だけで水をくちばしに含み、火にかきつけた。外から見れば無力。

だが、何もしないほうがよいのか。

●例えば、この環境問題に対するワイズの活動を「ハチドリの一滴運動」ネーミングして、中長期の行動目標にしてはどうか。(ロゴなど公募)

<今後のYVLFについて>

・ワイズの宝物はユースリーダー、世代であり、学Yもここに含めたい。

・今回の募集で、YMCA のリーダー学 Y のメンバーの環境問題や社会問題に関心のある人たちに YVLF の募集の案内が届いているのか。(どこかで情報がとまってないか)

・参加費用¥15,000 は、関心のある人たちが自分で負担するとなると、申込みの障壁になっていないか? (YMCA からの派遣の場合 YMCA が負担してくれるが、学Yはない)

以上の話し合いを受け、早急に役員、事業委員で話し合う必要がある。



## ぶどう棚下例会に参加して

花輪宗命

去る9月20日(土)、甲州市勝沼『ぶどうの丘』で、甲府21ワイズメンズクラブ恒例の9月第1例会(ぶどう棚下例会)が開かれました。

八王子クラブからは、長谷川ワイズ、久保田ワイズ、小ロワイズ、花輪ワイズ、岡垣修武ゲストが参加しました。



伝統と人気を誇るぶどう棚下例会だけに、当日は、甲府21クラブのほか山梨県内の各クラブ、山口あずさ部長はじめ東京(八王子を含む各クラブ)、長野などのワイズメンズクラブのメンバーや山梨YMCAからのゲスト等を含む盛大な例

会となり、甲府21クラブの人気と実力を改めて再認識する機会となりました。

プログラムの中では、山梨YMCAのユースリーダー風間奈月さんのAYC報告が素晴らしかったです。

AYC(エリア・ユース・コンボーション)は、8月1日から3日に熊本で開かれた第31回アジア太平洋地域大会に併せて、7月30日から8月3日に開かれたアジア地域各国のYMCAが育てているユースリーダー達の国際交流イベントですが、八王子からは中央大学ひつじくもの岩崎葵さんが参加しました(岩崎さんには八王子クラブの10月第1例会の卓話で報告していただきましたが、その内容はブリテン10月号をご参照ください。)

風間奈月さんは、昨年のAYC終了後アジア・パシフィックエリアのユース代表に選ばれましたが、本年度のAYCの企画、参加招請、イベントの管理・運営等の全てを丸投げに近い状態で任された経緯及びご苦労と努力の実情(舞台裏)を豊富な映像とエピソードを交えて報告してくれました。AYCの大成功の裏には、参加者は固より風間さん達のようなスタッフの皆様の頑張りがあったことを改めて認識する良い機会となりました。

第2部は、バーベキュー会場に席を移して、美味しいお料理とワインに舌鼓を打ちながら、様々な参加者との心



温まる交流を楽しませて頂きました。甲府21ワイズメンズクラブは、水

越正高会長以下の若手と、チャーターメンバーの野々垣ワイズ以下のベテラン会員多数を擁する「日本一」、というか「世界一」のワイズメンズクラブですが、ぶどう棚下例会では、参加者の皆様に、ワイズメンズクラブという大きな「家族」に属していることの誇りと喜びを噛みしめるひと時を提供して頂きました。



プラン

## 『富士山例会に参加して』

稲葉恵子

三年前に入会した当初から一度は行ってみたいと思っていた富士山例会に参加することが出来ました。思っていた通り、とても楽しい充実した二日間でした。富士山例会出席16回目という大先輩の久保田さんと一緒に心強くまた、行きの車中では八王子ワイズの歴史のお話



して頂き、とても有意義な時間でした。富士山5合目バスロータリーに着いた時は頂上が見えるほど空が真っ青でしたがあっという

間に霧に包まれ山の天気は変わりやすい事を実感しました。佐藤小屋に着いてすぐに『きのご狩りツアー』に連れてって頂きました。初めての体験でどれも食べることが出来そうですが、持ち帰ったきのこの半分以上は食べられないきのこでした。第1部、武蔵野多摩クラブ、東京サンライズ、富士五湖クラブによる合同例会は歴代3番目という49名の参加者で始まり、賑やかな例会になりました。第2部、尾崎ユタカ氏によるミニ卓話で『東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻 通称芸大油絵科入学試験について』という題目で定員55名の所に2500名競争率約45倍の興味深いお話でした。第一次試験から第三次試験の受験内容のことを面白可笑しくお話しして下さいました。最後に似顔絵描きの簡単に書けるコツをお話して下さいました。お時間があれば、もっと詳しくお聞きしたかったです。卓話後にBBQ懇親会ではたっくさんの食材たっくさんの飲みものを用意して頂きBBQが始



まりました。賑やかに食べて飲んで他のクラブの方々との交流も出来ました。カラオケも盛り上がりました。途中、空に雲一つない事に気づき、一番の楽しみにしていた星を探しに真っ暗なところまで行き、想像以上の『満天

の星』を見ることが出来ました。渡辺大輔さんに特殊な撮影方法で撮って頂き、我が家に帰りましたら既にパソコンに入っていました。二日目の早朝、富士五湖クラブの望月さんにガイドをして頂き、6合目まで一時間登り



ました。6合目では雲海が広がり、しばらくするとその雲海の間から差し込む光が漏れ始め眩しいくらいの陽光に感動して言葉なく立ちすくみました。静かな時が流れ深呼吸している自分がありました。いつも富士山を見ると60年前に登頂しご来光を拝めた時の記憶がよみがえります。富士山は遠くから見るだけと置いていましたが、この年齢になって6合目に立てて幸せでした。満天の星もご来光もお天気が味方してくれました。最後にごみますが、最高のおもてなしをして下さった富士五湖クラブの皆様感謝しかありません。本当にありがとうございました。

久保田貞視投稿文

富士山例会第21回開催 富士五湖クラブによる2001年から継続して富士山五合目の佐藤小屋での富士山例会が9月27日から28日にかけて開催された。標高2200メートルでのワイズ例会は世界でも最高に属すると思われる。参加者は約50名。宇都宮から鈴木次期理事、DBCの京都洛中クラブ、伊東クラブ、熱海グロリークラブ、沼津クラブからも参加。室内で例会の後、前庭でBBQ、演奏、カラオケと飲んで食べて談話に弾み素晴らしい交流の場となった。翌朝は9人で6合目2400メートルに登りご来光を仰ぎ、朝食後は富士山科学研究所に行き、ガイドによる1000年前に富士山の噴火でできた樹海の説明を聞く。その後は温泉に入り、昼食して解散。富士五湖クラブのメンバーには大変お世話になりました。早朝の6合目のご来光は神々しく

素晴らしかったが、86歳になると厳しくなりつつある。



# 第39回東京YMCA チャリティーラン

## 第39回東京YMCAチャリティーランを応援 小口多津子

9月27日(土)、夏のような暑さが戻った、緑深い都立木場公園内特設コースで東京YMCAチャリティーランがありました。



八王子クラブと高尾の森わくわくビレッジとでチームを組んで、エントリーした正式名は、「YMサービズ株・八王子Y's×ひつじも」。並木真さんの付けたチーム名に、今年は中央大学ひつじもの名が入りました。毎年、ひつじもの参加は1人はおりましたが、今年は4年生の藤原直輝さん、OBの宮内蒼也さんが一緒にランナーに。タスキを渡す姿をみた時、ひつじもが在校生にしっかりと受け継がれていく姿、そのものでした。

それにしても9月に入って、この6名もの走者集めをお1人でされた並木真さんの熱情には脱帽でした。

東京YMCAに繋がっている専門学校、サポートプログラムに関わる職員、学生リーダー、ボランティア、各ブランチの児童とその家族たち、東京YMCAが一同に集まる、大イベントがこのチャリティーランです。

この日はYMCAが本当に大きな組織であることを知ります。また、それを支援し、協賛する沢山の企業の方も知り、その多さに驚きます。特に、全国YMCAでチャリティーランの収益金は、全て特別支援プログラムに使われます。

上田大会委員長の報告によると、使い道は支援を必要としている発達障がい、知的障がい、肢体不自由な子供達が主で、昨年度は、全国YMCAで総じて398のプログラムが実施され、約4000人近い子供達の為に使われました。

この日の目玉プログラムは「駅伝大会」。木場公園内コースを走者1人が一周で1.3キロも走り、タスキを繋げます。わが八王子チーム走者を一人ずつ見つけては、応援団はたった二人だけの長谷川あや子さんと私で、声をからして声援を送りました。



一番走者は、ひつじも4年生の藤原直輝君、彼はとにかく早い、なんと区間で2位でした。二番走者は、西田順也さん(並木真友人)、三番目の走者は古川さん(東京YMCA社会体育、保育科)、四番は前田 亨さん(八王子クラブお馴染みの助っ人、並木友人)、5番目に並木真さん、ラスト走者は宮内蒼也さん(ひつじもOB)。結果は全体43チーム中の27位でした。応援にこられた宮内さんのボランティア仲間の綾部にのみさん有難うございました。



終わった後のすがすがしさ、爽やかさ、一生懸命走った人でないと味わえない

ものです。テントの下、タオルで汗を拭く走者の皆さん、高い、青い空を仰いで魅力的な最高の笑顔でした。



## チャリティーウォーク



玉川上水を歩く



ドイツから参加 風間さん



## 9月例会卓話から

### 脳と“こころ”の不思議な関係



9月6日の例会では山口和彦ワイズ(東京町田コスモスクラブ)による「脳と“こころ”の不思議な関係—意識と無意識」という題の卓話が盛りまりました。

“こころ”は脳のはたらきによると考えられているようですが、脂質とタンパク質からできている実際のサンマとアジの脳を見ると



ところから始まりました。なぜ、こうした脳に意識が生じるかは今もわかっていないそうです。

次いでプリズム眼鏡を用いた運動学習実験を行いました。横にズレて見えるプリズム眼鏡をかけると、はじめはうまく目標にタッチできませんが次第に学習して、目標にタッチできるようになります。眼鏡をはずして目標にタッチしようとする、無意識に手がずれてしまいます。小脳に意識はありませんが、運動を学習するはたらきがあるそうです。



意識のこのぼる記憶は認知症で低下します。認知症を起こしやすい環境的リスクとして、以下の14項目があげられています:教育不足、頭部外傷、運動不足、喫煙、アルコール過剰摂取、高血圧、肥満、糖尿病、高コレステロール、うつ病、難聴、視力低下、非社交性、大気汚染。他に食生活、ストレスも大きな要因と考えられています。すがきちんとした統計がとりにくい難があります。

最後にビジネス等の競争的、分析的、言語的な働き、そして自己意識の中心である左半球に対し、左半球に抑圧され無意識のよりがちだが共感、愛、平和のはたらきをしている右半球の役割について、ジル・ボルト・テイラー博士の体験談(Youtubeで「TED 奇跡の脳 ジル・ボルト・テイラー」と入力すると日本語字幕で視聴できます)が紹介され、認知症予防のためにも学習、社交、運動、共感、博愛等、重要である旨、紹介が盛りまりました。

### 山口さんのお話を聞いて ゲストの皆さん



東京町田コスモスの権藤ですが、今日は会長がお話をさせていただきすので付いて参りましたが、こうい話っているのはチャンスがないと理解が伴わないという、身近にいながら、改めて面白かったと思います。

このクラブにも久しぶりに参りました。地雷キャンペーンのプログラムを八王子はずっと最初から持って活動してくださいましたし、若い方もいらっしゃるの本当に感激しました。

来年町田コスモスも30周年になりますので、皆さんと一緒に招きをしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。(権藤徳彦ワイズ談)



本日は貴重なお話ありがとうございました。小脳の働き、プリズムメガネとか、アジの脳を実際に見たりとか、なんか普段だったら絶対見ないようなこととか、できない体験ができてすごい面白かったなと思っていました。こうい定例会を通して、こうい普段できない体験ができるってすごく嬉しいことだと改めて思ひました。本日はありがとうございました。(小宮夏光さん談)



本日は貴重なお話ありがとうございました。特に左半球と右半球で役割が結構違っている話がとても面白かったです。あと大学で習った心理学の話ともかなり重なっていて、とても興味深かったです。ありがとうございました。(並木 遥さん談)



今日はカズさんありがとうございます。いつもいいお話を聞かせていただいています。

今一つ追加させていただきたいのは、自分のケアマネとしての経験から、認知症になる方、なりやすい方、まずマイナス思考の方、クソ真面目な方、あと笑わない方、この方たちはやっぱり、なんか難しいかな？ 本当に今介護してもすごくこうう方が多いです。でもこちらの方達みんな大丈夫だと思います。笑うし、話すしていら感想を一言。

(麻生由美子さん談)



いつも八王子遊びに来させてもらって感謝してます。ありがとうございました。山口さん、どうもありがとうございます。いつも怖い先生だってイメージがあったんですけど、今日はすごく優しい感じで学ばせていただきました。私はここに来る時にやっぱり一番楽しみにしてるのは、自分の活性化をしたい。というのは、皆さんにお会いして皆さんのにこやかな顔すると一番印象がいいな！なんて思いながら参加させてもらっていますので、一番のこれが得てございます。どうもありがとうございました。(大輪匡史さん談)



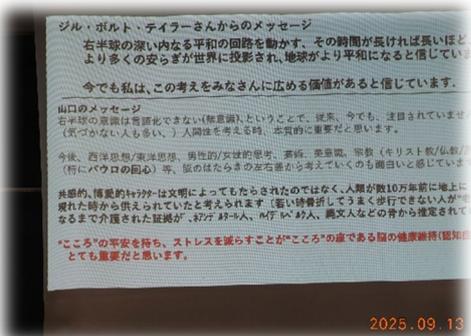
私もさっき17のうちの自分がよくつ当てはまるかなと思ったら、5つ当てはまってしまっていて、でも先生が今、知的環境不足と社交性の不足、これはやっぱりこういう会に出ることでちょっと防げるんじゃないかって、ちょっと救われました。ありがとうございました。

(篠原文恵ワイズ談)



さっきはお誕生日ありがとうございます。あの山口さんの話、何回聞いても新鮮に聞こえる、あの幸せなのだなって思いました。

(本川悦子ワイズ談)



# 東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

## 東京 YMCA 近況報告 2025/10

- 今年 2 月～4 月にかけて呼びかけたクラウドファンディングによるご寄付により外国にルーツのある子どもたちを対象としたサマーキャンプを 8 月 22 日～24 日に実施した。29 名の子どもたちが参加し、山中湖センターでのキャンプを満喫した。
- 9 月 1 日、「関東大震災第 102 周年記念追悼合同 早天礼拝」を、在日本韓国 YMCA と共催で、在日本韓国 YMCA で開催し、45 名が出席した。李明生牧師(日本福音ルーテル教会 むさしの教会)に「その日を望みつつ」と題してメッセージをいただいた。
- 東京 YMCA 高等学院が小田原短期大学等と協働で実施している「ホテル観賞会研究プロジェクト」が特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催「第 19 回キッズデザイン賞」の「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で受賞した。在校生・卒業生・スタッフが「ホテル観賞会」とその研究に関わり、3 年間で延べ 850 名以上の子どもたちに安心で豊かな自然体験の機会を提供した。
- 9 月 17 日、TOKYO YMCA VISION 150「気候変動に対するアクション計画」の一環として、運営会議で気候変動対応の研修を実施した。株式会社 UPDATER 取締役の真野秀太氏に「気候変動にどう向き合うか」をテーマに講義をしていただき、気候変動の現状や、再生可能エネルギーについて学んだ。管理職に加え、各部署の職員にも呼びかけ合計 70 名が参加した。
- 9 月 20 日、「2025 災害スタディ」を東陽町センターで開催し、地域の諸団体や企業、障がいのある方、東京 YMCA 会員・職員等 44 名が参加した。福田信章氏(災害協働サポート東京業務執行理事兼事務局長)に進行いただき、防災街歩きプログラムや段ボールトイレを作る等のワークを通して、多角的な視点から災害について学んだ。
- 今後の主な行事予定
  - ・「第 39 回インターナショナル・チャリティーラン」
  - 個人ウォーキング(オンライン): 9 月 20 日～9 月 27 日
  - チームウォーキング(オンライン): 9 月 27 日～10 月 5 日
  - 駅伝大会(都立木場公園): 9 月 27 日

次ページへ続く

## YMCA 便り 前のページより

- ・「早天祈祷会」10月1日(山手センター/オンライン)  
奨励:神谷幸男氏(東京西ワイズメンズクラブ)
- ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜YMCA共催)10月25日(横浜外国人墓地)
- ・「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」11月4日～6日 会場:東京YMCA  
テーマ:「“Our Responsibility for the Future - To Leave No One Behind”」
- ・「第27回愛恵エッセイ」11月14日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)  
テーマ:「豊かな福祉社会を創るために」
- ・「国際協力一斉街頭募金」11月15日 新宿駅周辺  
以上

## Happy birthday to you



稲葉憲司さん・本川悦子さん・大久保重子さん(欠)



## わくわくヴィレッジ便り

館長 西嶋健太

少しずつ秋めいてきた10月、皆様にはお健やかにお過ごしのことと存じます。9月は学校団体のご利用が増え、なかでも特別支援学校の皆様にも多くお越しいただきました。お支え、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

体育室は工事のため使用を止めておりますが、屋外の活動場所や研修室、自然体験プログラムを柔軟に組み合わせ、学年・特性に応じた活動を展開いたしました。「体育室が使えなくても十分に楽しめた」「自然の中で落ち着いて過ごせた」との声を頂戴し、施設の多様な資源が子ども達の学びと交流を支えていることを改めて感じております。

併せて、8月に実施した3泊4日のキャンプの参加者アンケートを分析いたしました。子どもたちからは「身の回りのことを自分でできた」「五分前行動が身についた」など生活面の自立に関する記述が多く、保護者の皆様からも「準備や片付けを自ら始めた」「自己肯定感が高まっ



た」とのご評価が寄せられました。初対面の友だちと関わる力や異学年交流の広がり、ボランティアリーダーの「分かりやすい声かけ」への好意的な反応も目立ち、今年度のねらいである「“できた”体験の積み重ね」が自信の芽を育てていることが窺えました。

実りの季節に向けて、私どもは安全を最優先に、誰もが安心して挑戦できる場づくりをさらに磨いてまいります。引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 今月の聖句によせて

(2025年10月)

東大医学部長から;国立国際医療センターの病院長、名誉総長、日本学術会議第7部長などを歴任され、東大名誉教授であった、鴨下重彦先生。ベッド数2~300床の、下町の中小病院である社会福祉法人賛育会賛育会病院院長に就任された時、ある医学雑誌で「掃き溜めに鶴」などと紹介されたことがありましたが、決して偉ぶることはありませんでした。小児科学を専攻された先生は、ガンで闘病中も亡くなるまで、賛育会で小児科の臨床医師として子どもの診療にあたっておられました。この鴨下先生がもっとも深い関心を寄せておられたのが子どもの「教育」でした。とりわけ、東大総長であった矢内原忠雄先生から大きな影響をうけておられ、「平和と民主主義」の精神を伝え、分かち合うことを教育の基本と考えておられました。矢内原先生は、詩人ワーズワースの「子どもは大人の父である」という言葉を引用して子どもに対する大人の責任を説いています。鴨下先生も、私は、「小児科医として子どもの問題を考える時、矢内原先生の子どもの観を教訓としなければいけない」と思っている、と語っています。

ある時、鴨下先生と立ち話をしているとき、「矢内原忠雄先生の『教育と人間』(1961年東大出版会)に大きな影響を受け、卒論にも引用したことがあります」と私が話すと、鴨下先生は嬉しそうに、私も同じですよ、と語ってくれた事がありました。「教育と人間」の中で、矢内原先生は、民主的な人格の持ち主とは、「自分が何者の奴隷にもなりたくないように、何者をも奴隷としない人間である」とのべておられます。

イエスは、子どものように、自分を低くする者が天国でいちばん偉いものであり、わたしの名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのだ、と語ります。鴨下先生は、こどもを診るとき、この言葉を胸に診療にあたっていました。

いつも自分を低くし、如才なく声をかけて下さった鴨下先生を思い出すこの頃です。

並木信一



鴨下重信先生

## ひっじぐも便り

こんにちは。

中央大学総合政策学部2年の霞ひかるです。

夏の名残を感じる日差しの中にも、秋の訪れを感じるこの頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回は8月から9月にかけての活動についてご報告させていただきます。

8月9日には日野市にある、みさわ児童館での活動を行いました。館内では子供たちが竹馬に挑戦しており、私たちも加わって一緒に挑戦しました。その後はカードゲームやドッジボールなどでも盛り上がり、とても楽しい時間となりました。翌週の16日や9月6日も同じ児童館で活動し、この日も竹馬が人気でした。子供たちは足の位置をどんどん高くして楽しんでおり、私たちもドッジボールやレゴなどで一緒に遊び、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

一方、9月15日には八王子駅北口でゴミ拾いを実施しました。多摩センター周辺や高幡不動駅周辺に比べるとゴミの量が多く、清掃後には大きな達成感がありました。4年生や1年生の参加もあり、学年間の交流を深めることができたのも良い機会になりました。今後はスムーズなゴミの処理や参加者の確保が課題となります。より多くのメンバーに参加していただけるように工夫しながら、街をさらにきれいにしていきたいです。

9月20日には再び児童館での活動を行いました。この日は少人数でしたが、その分一人一人の子供と関わる時間を持つことができ、充実した一日となりました。

振り返ると8月・9月は学生が夏休みに入る時期であり、満身に活動するのが難しい面もありました。しかし、その中でも児童館での活動を中心に意義ある活動を行うことができました。日頃から主体的に活動に参加しているメンバーのおかげで、このように継続的な活動ができています。また、最近では新入生の参加も増え、学年を超えた活発な活動が広がりつつあります。こうした良い流れをさらに大きくしていきたいよう、一つひとつの活動を大切にしていきたいと思えます。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、皆さまどうぞお身体にお気をつけてお過ごしください。



## 9月クラブの例会報告

小口 多津子 (書記)

### 2025年9月第一例会・報告

25/9/15 書記小口

日時:9月13日(土)6時~7時半 北野事務所会議室  
出席者(敬称略)・A班(長谷川、並木真、稲葉、小口)B班(久保田、望月、花輪)C班(西嶋、山本、並木、並木雍子、)

ビジター: 卓話者山口和彦、榎藤徳彦(東京町田コスモス)、本川悦子、篠原文恵(東京西)

ゲスト:大輪匡史、麻生由美子、(お二人は山口氏リーダーお仲間) 並木 遙(並木真さんご長女、大学生)、ひつじくも(小宮夏光、3年生) 19名。

~~~~~

司会:並木 真 開会点鐘:長谷川あや子会長  
卓話:「脳と「心」のふしぎな関係・無意識と意識」  
お話し、山口和彦ワイズ(東京町田コスモス会長)、  
専門は脳神経科学。

「私達の心は、脳の働きによると考えていますが、主にはタンパク質と脂質で出来ている脳に、どうしてこころが生じるのか、謎ですが、脳の働きの中には意識のほらない働きもある。

実験してみましょう、また認知症のリスクについてのお話し(山口氏よりの要旨)

脳の健康維持には、・心の平安を保ち、ストレスを減らすこと。(詳細はブリテン10月号に)。

プロジェクターを使つての解説、魚の解剖実物。楽しい視覚実験もありました。

会長報告:これからの予定(長谷川会長)

- ・9/20(土)ぶどう棚例会(甲府21クラブ)出席:久保田、長谷川、花輪、並木真、岡垣、小口
- ・9/27(土)第21回富士山例会(5合目、富士五湖、サンライズ、武蔵野多摩合同例会)  
出席:久保田、稲葉。
- ・9/27(土)第39回 International Charity Run 木場公園、駅伝大会 東京八王子とYMサービスで1チームエントリー。走者:並木真、ひつじくも、藤原、宮内OB、前田亨さん、西田順也さん  
大会ボランティア参加:長谷川、小口
- ・9月第二例会は、諸行事と重なるため中止
- ・10/11(土)10月第一例会 北野事務所、B班  
卓話「熊本AYCに参加して」ひつじくも 岩崎 葵さん
- \*10月第一例会後に、続けて第二例会を持つ。  
打ち合わせ30分ほど(25日は、会長不在の為)
- ・10/25~26 長野クラブ15周年記念会  
出席・長谷川会長

- ・11/8 (土)11月第一例会 八王子ベテル教会  
卓話:後藤哲夫ワイズ 担当C班
- ・11/22 (土)11月第二例会 北野事務所
- ・12/14 (日)15:00~ 高尾わくわくビレッジ音楽室  
12月クリスマス例会 担当A班
- 東京YMCA報告(西嶋担当主事)
- ・9月27日(土)第39回 International Charity Run 木場公園、駅伝大会、ほか。
- ・今夏のYMCA夏のキャンプ(山中湖、野尻、高尾の森わくわくビレッジ)約600人が参加。  
海外キャンプ(ハワイ、ニューヨーク、ボストン)  
約27名参加
- スマイル:11,500円
- ハッピーバースデイ・大久保重子さん、稲葉憲司さん、本川悦子さん(東京西)
- 終了後、北野駅前・たのしやで希望者会食(12名)。

### 先月の例会ポイント (9月)

|        |     |      |   |         |
|--------|-----|------|---|---------|
| 在籍     | 11名 | 切手   | 計 | 0g      |
| メン     | 10名 |      |   |         |
| メイキャップ | 0名  |      |   |         |
| 出席率    | 91% | 現金   |   | 0円      |
| メネット   | 1名  | スマイル |   | 11,500円 |
| ゲスト    | 3名  | 累計   |   | 23,900円 |
| ビジター   | 4名  |      |   |         |
| ひつじくも  | 1名  |      |   |         |

### 10月ご誕生されたメンバー

小口多津子さん 4日

並木 真さん 20日



悲しみに包まれて 慈母・アンナさんを偲ぶ



「Annaさんの思い出」

長谷川あや子

2009年10月10日(土)は東京八王子クラブの15周年記念例会でした。(日野自動車21世紀センターにて)91名の出席者のうち、高雄ポートクラブからAnnaさんとお母さまも出席して下さいました。翌日は久保田さんのお家に招かれ、Annaさんとお母さまを囲み楽しいひとときを過ごしました。親子の会話の中でAnnaさんがふくれっ面をするなどよそ行きではない普段の姿が垣間見られ、ほほえましかったことを思い出します。

私はお母さまから「あなた、お母さんは?お父さんは?」と聞かれ、早くに亡くなりましたと言いましたら、「だから、あなた、しっかりしているのね。」と云われたことが忘れられません。

お母さまとAnnaさん、きっと天国でワイズの思い出を語り合っていることでしょう。



とうふ屋うかいにて ご挨拶をされるアンナさん (30周年記念例会へご出席のために来日された)

## 忘れ得ぬ人、Anna Chen さん

小口多津子

わずか半年経っての悲しいお知らせに、言葉もありませんでした。最後はこの3月のIBC高雄・港クラブの25周年記念会（高雄）でお会いしたばかり、早すぎますたった半年です。あの朝早かった離陸の空港での固い握手の手の温もりを、何度も思い出しております。こんな寂しい気持ち、本当にどうしてなのでしょう。

2019年の高雄・港クラブとのIBC締結式で、高雄に行ったときに始めてお会いしました。私がメンバーの中で、ただ一人終戦前の高雄で生まれ育ったことで、ことのほか気持ちを寄せて下さいました。

その締結式では、アンナさんのお母上にお会いしました、日本統治下で教育を受けられたことで、日本語が流暢でした。なので、アンナさんご自身も日本語、それにアメリカに長くいらしたので英語もご堪能でした。お考えが明晰な、温かく、ユーモアもありゆっくり話して下さい、私は自分ももっと勉強していればこのような素敵な女性になれたのに、と思わされていました。

昨年10月26日の東京八王子クラブ30周年記念会に出席で来日されました。記念会翌日の27日は、私はアンナさんの河口湖行きお供で、富士山回遊号に八王子からご一緒しました。すべてのコー



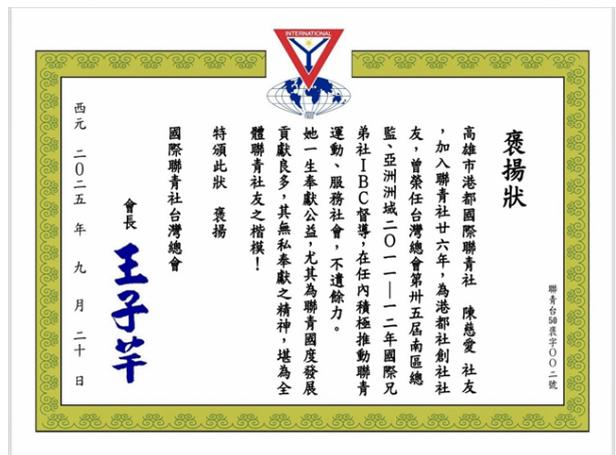
ス、チケットはすでにご用意されていて、どんどん私を連れて、案内されたのにはびっくりでした。河口湖湖畔のコキアという植物の群生に、オルゴール博物館に、一緒に歓声をあげて本当に楽しい思い出でした。

その日の昼食はとお店を探していた私に、朝が多かったので、何も入らないとのこと。

でもと一緒にいったカフェで一皿だけサンドイッチを頼み、二人で半分ずつしたサンドイッチ。

戻ったJR八王子駅セレオで、お土産を探されました、これが欲しいと歩きまわったのは、なんと甲府の桔梗屋信玄餅の赤い包でした。なにか思い出があるとのことでした。

河口湖の翌日は、東京駅からご自分でコースを作られ、皇居から銀座まで歩き、銀座でお美味しいお寿司を食べてから、帰国するとおっしゃっていました。十分にワイズを、IBC交流を、そして日本を心いくまで楽しまれたアンナさん、私は頂いた沢山のクリスマスカードを飾っています。私には本当に忘れられない人です。



## 高雄ポートクラブのアンナさんを偲んで

久保田貞視

高雄ポートクラブの張弘（トム・チャン）さんより9月13日に同クラブのチャーターメンバーのアンナさんが逝去された旨メールが届き驚きました。3月の同クラブ25周年記念例会にはお元気で、出席した私たち5人を迎えてくれた上、5人に生の美味しいマンゴを差し入れてくださり、ツアーにも一緒に付き合ってくれました。昨年の当クラブの30周年例会にも高雄市から参加されました。

アンナさんとは16年前の高雄市でのIBC締結式



では各スピーチの日本語・英語・中国語の通訳をしていただき、同年の八王子クラブの15周年記念例会には亡きお母様とご一緒に我が家に招待した時はお母様が大変喜んでくれました。翌年の高雄ポートクラブの10周年記念例会には当クラブの故吉原会長が参加し、宿泊はアンナさん宅に泊めていただいて彼は喜んでいました。その他にもアジア大会や国際大会で一緒しています。彼女は高雄ポートクラブのママさんとしていつも笑顔で接してくれた太陽のような存在でした。天国で平和な時を過ごされますよう祈念いたします。



高雄ポートクラブ25周年記念にて アンナさん

### アンナさんを偲んで

久保田佐和子

昨年の30周年記念例会時にお会いしそれが最後だったとは思いませんでした。

アンナさんが、その折免税店に寄りたいということで近くのスギ薬局にご一緒しました。用意していただいたメモ紙を見ながら、資生堂の化粧品、栄養剤、調味料、友人に頼まれたと、ふりかけの袋など躊躇なく買い物を済ませられました。パスポートを見せて支払いが済みました。私は国内で、空港以外免税店に入ったことがないので、ただただアンナさんの後について回っただけでした。その後八王子でスギ薬局を見るとアンナさんを思い出しておりました。写真は当クラブの15周年記念例会に参加された後、自宅に来ていただいた時のものです。



### 慈母・アンナさん

山本英次

英語も中国語もしゃべれない私に優しい日本語で会話を進めて下さったのがアンナさんです。独りぼっちのテーブルへそっと寄り添って話をしてくれたアンナさん！心からの安心感を下さった慈母と呼ばせていただきたい。頂戴した香り袋の匂いは無くなったが、アンナさんの佇まいだけが今も残っている。それが悲しすぎるのです。



Dear CSD-IBC Sam Kubota,

Greeting from the Y's men's club of Kaohsiung-The Port!

The Anna Chen burial ceremony hold in the morning. The master of ceremonies announced the Condolence letter from 東京八王子 Y's club with English and Chinese.

We thank you very much. Please extend our best regards to your members.

Sincerely & Y'sly, Tom Chang

Y's Men's Club of Kaohsiung The Port

Mr.Tom Chang

All of members of Tokyo Hachioji Y's Men's Club are grief-stricken at the shocking news of the death of Anna Chen.

We remember her ever present kindness and consideration, her smile and good humor.

We regret that we will not be able to pay our last respects in person.

May the deceased's soul rest in peace.

September 20,2025

Tokyo Hachioji Y's Men's Club

President Ayako Hasegawa

PS: Please convey this message to the Chief mourner at 高雄徳生教会